



●スペースパークボランティアの会●

# S.P.V つららん

第22号

平成21年9月

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会 〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201



## 皆既日食in上海顛末記

平成21年7月22日、この日、月の影(本影推)は、インド西部から始まり、ヒマラヤ山脈、中国の上海、そして、日本の種子島から奄美大島にかけて点在する日本の島々を駆け抜けました。

日本では46年ぶりとなる皆既日食の話題に沸きかえる中、SPV天文グループ皆既日食遠征隊7名は、福島空港から一路上海を目指し旅だちました。その結果は如何に…!

はたしてコロナをまとった黒い太陽を見ることができたのでしょうか?

### 〈その1 お弁当事件〉

その日の福島空港国際線ロビーは、日食観測のために中国に向かうグループで、いつになくごった返していました。預け入れ荷物の手続きに思いのほか時間がかかり、遅い昼食を簡単に済まそうと空港のレストランで全員同じ「カツ定食」を注文、しかしこれがいつになんて出てこない。搭乗手続き時間のリミットがせまり焦りくる。食べてる時間が完全になくなり、お弁当にしてもらいテイクアウト!

そんな訳で、搭乗手続きでは、お弁当までX線検査を受けることになりました。つぎつぎにベルトコンベア乗り検査機械に入していくお弁当を見て検査の方も苦笑。(お弁当も災難でした…)

検査官の「次もお弁当あります!」には笑えましたが、弁当と分かっているなら検査するなよ!と思わず突っ込みを入れたくなりました。

### 〈その2 暑いぞ上海!〉

暑いとは聞いていましたが、気温が高い上に湿度も高い。その上、人もいっぱい!訪れた杭州では日中の気温が40℃を越していました。“太陽ギラギラ”、“日差しサンサン”、ここで中国で帽子をかぶるときの注意!!「緑色の帽子はかぶらないように」浮気のしるしだそうですから…。それにしても日差しがきつい!日食観測に期待がわきます。

### 〈その3 雨雲退散!!〉

日食当日、眠れぬ朝を迎える部屋のカーテンから顔を出し、空を見上げていました。昨夜から上海は久しぶりの雨となり、今も厚い雲がたれ込めています。昨日までの晴天を恨みながら、テンションは下がります…。

観測場所は、上海から車で南西に1時間ほど行った所にある「余山観測

所」。添乗員の「上海とは天気が違うから」の言葉に望みをつなぎ、出発!

### 〈その4 SPV観測隊に危機!治安当局から解散命令!〉

余山観測所に到着すると、雲間から太陽が顔をのぞかせるまでに天候は回復していました。すでに観測場所には大勢の人が集まり、テンションも急上昇!早速、今回の日食遠征のために、科学館で用意していただいた特製の横断幕を入れて全員で記念撮影!ん~気分は上々です。そんなことをしていると、いきなり制服の方がやってきて、「集団的行動にあたるのでやめよう!(中国語)」と強制解散させられました。恐るべし中国…。

### 〈その5 5分27秒の長い夜〉

現地時間8時23分、第1接触(太陽のかけ始め)雲間から欠けた太陽が顔をのぞかせると歓声がわき上がります。

期待が高まる。しかし…この後に続く雲の襲撃と雷鳴と豪雨…。太陽は私たちにその姿を見せることはありませんでした…。

今回、コロナをまとった黒い太陽を見ることはできませんでしたが、真昼に訪れた5分27秒の漆黒、いつもは皆既日食のこの瞬間がとても短く感じますが、今回ほど闇が長く、そして恐れを感じたことはありませんでした。それは、動物としての深層心理なのかもしれません。



第1接触開始  
このまま順調にいけば…



皆既日食直前と皆既日食中の風景。ずいぶん暗くなるものです。

### 〈その6 日食病発症〉

不思議に思うかもしれないが、皆既日食を見られなかったことで、より、皆既日食を見たくなる!そんな思いがわき上がってきます。それが日食病です。つぎに日本で見られる皆既日食は2035年。そこまでとても待てないあなた!S.P.Vにお声かけください!

(S.P.V上海皆既日食観測隊長 斎藤正一)

## スペースパークボランティア募集!

※無償参加可能な方。他応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。  
郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 管理課

**TEL024-936-0201**

# 皆既日食in上海

## 上海 皆既日食便り

皆既の朝は太陽の方向がわずかに分かるくらいの曇り空。前夜は一雨あつたし誰もが晴れることを祈ってホテルが用意した朝食の弁当を手にバスに乗り込みました。

バスを降りると早朝にもかかわらず40度を超す気温とものすごい湿度に機材やレンズが曇るのではと心配するほどでしたが、入場制限や手荷物検査など厳重警戒の中、約8,000人が余山観測所付近の指定された場所で観測準備を始めました。

第1接触前後に少し太陽が顔を出し部分日食は記録することはできましたが、その後は一気に雨が降り出し機材を片付ける間もなく最悪の観測となりました。やがて皆既の時間が近づくにつれ辺りは日没直後ぐらいの暗闇となり、ドシャ降りの中の雷鳴と雷光は身の震えるような畏敬の念さえ感じられるクライマックスでした。もし晴れていたら撮影やら眼視での観察とあたふたと時間が過ぎアツという間の5分26秒でしょうが、まさに天変地異のさなかにいてとても長く感じたのは私だけでしょうか。後で聞いた話によると皆既中は通常4度位の気温差があるそうですが、私た



日よけが雨よけに…

ちの観測地では雨と風で気温が20度も下がり体調を崩された方もいたそうです。

「創造主から私たちへの贈り物である。」とは、太陽系の運行法則を発見した17世紀のヨハネス・ケプラーの言葉です。日食は、神様が400倍直径の違う月と太陽を地球から400倍違う距離に配置して、月が太陽を絶妙に隠す現象です。

今回の日食帯の幅は258.5Kmで地球外周の155分の1。生まれて初めて皆既帯まで出かけての観測で雨に降られたのは残念ですが、神々しいこの現象をその中で体験できたことは一生の思い出となり、天文を趣味とする私にとって大きな糧となる旅でした。またチャンスがあれば是非ともその中に浸ってみたいものです(人はそれを日食病と言うそうですが…。)



### その1 お国変われば…

私たちが向かった観測場所は上海市郊外の余山観測所近くの公園。入るには限られたゲートで手荷物検査を受けなければなりません。中には青いTシャツを着た大勢の案内スタッフとそれにまけないくらいの人数の警察官が立っていました。

「何でこれほどの警察官が…?」疑問は間もなく我が身に降りかかるきました。機材の準備も一段落した頃、グループ全員で日本から用意していった[S.P.V.皆既日食観測隊in上海]の横断幕を持って記念写真(表紙のタイトルの写真です)を撮ろうとシャッターを切った瞬間、脱兎の走りで走ってきた警官が横断幕を指さし曰く「これは何だごとく走ってきた警官が横断幕を指さし曰く「これは何だ… (もちろん中国語で)」とエライ剣幕でまくし立てていま

す。向こうではたとえ数人でも徒党?を組んでポスター、プラカード等を持って行動するのは御法度らしいのです。お国変われば何とかで危うく逮捕は免れましたが冷や汗の貴重な体験でした。

### その2 警察官の数?

現地の添乗員さんの話では、「今日は皆既日食ですが高速道路などで立ち止まって日食を見たりすると事故や渋滞が発生するので、交通整理に1億人の警察官が動員されています。」とのことでした。

中国の人口って13億人だと思っていたけど…、ってことは13人に1人が警察官?さすが三国志の国、スケールが違います。  
(S.P.V.上海皆既日食観測隊員 捧芳光)

## 天ボラの

# 知識泉<sup>②</sup>

### ●木星

本格的な夏が来ないまま、虫の音のする秋になってしまった。

日が暮れすぐに東の夜空にひときわ明るく輝く星が見られます、この星が全天で4番目に明るい星『木星』です。(1番目が太陽・2番目が月・3番目が金星)

木星は、私たちの住む地球と比べて直径が11倍、質量が318倍もあり、太陽系の8個の惑星の中で最大の惑星です。

小さな望遠鏡で覗いても表面の縞模様や4個のガリレオ衛星を簡単に見ることができるので、機会がるときは(駅前観望会などで)覗いて見て下さい。

木星には、現在63個の衛星と3本の環が発見されていますが、残念ながら地上からはガリレオ衛星以外は観ることができません。

秋の夜長、澄みきった星空を眺めて『またり』時間を過ごすのもお勧めですよ。  
(鈴木 光雄)

# 部分日食in郡山

## 部分日食観望会に参加して

去る7月22日に郡山駅前広場にて行われました部分日食観望会には、市内外から大勢の方々が集まりました。今回はその時の様子を多少薄れつつある記憶を頼りに、私、齊藤（淳）がお届けいたします。

その日は朝からあいにくの曇り空で、小雨もパラつくという何とも微妙なお天気。私は張り切って家を出たものの、恐らく中止だらうな～などと考えていました。ところが実際に会場に到着してみると、このお天気にもかかわらず既に大勢の方が…。夏休みに入ったこともあり親子で参加の方が多数を占めていたようです。

そして、この大勢のお客様と私たちスタッフの願いが届いたのか、食が始まって間もなく雨は止み、雲間からとうとう太陽が姿を現してくれました！私は急いでセットされた望遠鏡に張り付くことに。白い投影版に映し出された欠けた太陽の姿に、人々から思わず拍手と歓声が沸き起りました。

時折、雲がかすめてしまうことが何度かあったものの時間が経つにつれて太陽はどんどん欠けていき、いよいよ食が最大になる時間が迫ります。デジカメや携帯を構えてその瞬間を撮ろうと隙間なく望遠鏡を取り囲んだ大勢の人々の中で私は内心不安でした。…曇ってしまったらどうしよう！（冷や汗）。



11時12分、この日最大に欠けた太陽はその姿を見事に私たちに見せてくれました。皆様大満足の様子で私もホッと一安心。そして、この滅多にない天文ショーに立ち会えた幸運を感じつつ、この日のために創意工夫を凝らした準備を行ってきた科学館職員の方々のご努力に深く感謝しました。

皆さん、次回の部分日食観望会は3年後ですよ～！（やりますよね？）（S.P.V郡山部分日食観測隊 齊藤 淳子）



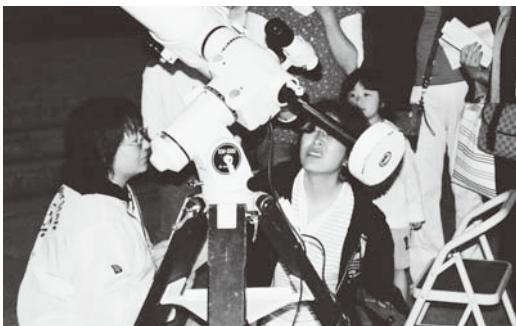
## 今号のきら星☆さん 天文グループ 降矢さん親子

天文ボランティア6年目になります。

去年の春、星のソムリエ（準案内人）になったころからの『親子で一人前』は、なかなか進歩しませんね。

最近は心がけて”星の宅配便”に行くようになりましたが、宅配便はどちらかというと星の見えない日が多く、雨の日のメニューを考える必要を感じながらも、科学館のスタッフのお手伝いをしています。

是非、親子で同じ星を眺めながら感動を語り合って欲しいと思います。（母：降矢節子）



母と同じく天文ボランティア6年目になります。

私も去年の春、星のソムリエ（準案内人）になりましたが、口下手なので一人前になれません。

また、ボランティア活動の日に曇りだとテンションが下がってしまうため、あまり参加しません。そのため曇りや雨の日のメニューについての知識が浅いので、もしかすると自分より母の方が先に一人前になるかもしれませんと、内心少し焦っています。

今後は、曇りや雨の日でもできるだけ活動に参加していく、親子ともども案内人になりたいと思っています。（子：降矢尚樹）




**イベント情報**

# Event Information



- 旧国鉄・JR関連の鉄道資料コレクションの展示
- 工作コーナー(電車のペーパークラフト)など

## 鉄道フェスティバル

●10/10(土)～12(月・祝) 10:00～17:00

\*12日のみ  
16:00まで

今年もまた、鉄道の日(10/14)を記念し「鉄道フェスティバル」が開催されます。数多くの貴重な鉄道資料の展示、ペーパークラフトコーナーなど盛りだくさんで皆様のお越しをお待ちしています。



## 内田博士の 魂の叫び!! ⑯『夏の思い出』

内田少年にとって、これほど魅惑的なものはないと言っても過言ではなかったことを思い出す。ラジコンカー、ライフル銃の玩具、蒸気機関車の模型が屋台に立つねじり鉢巻きのおじさんの背後にずらりと並んでいるかと思うと、手前側には指人形やら、貧弱な景品が無造作に番号札ごとに区分けられて置かれていた。ねじり鉢巻きのおじさんの背後に並べられている豪華景品に無関心であるわけがない内田少年は立ち止まる。「あー残念だねえ」と子供に指人形を渡す。これを何度も繰り返していた。そのとき、くじの入っているザルに目をやれば、くじが7枚しか入っていないかった。「どうせ当たるわけがない」などとは言っていられない。7枚のくじを全部買えば、この景品は全て手に入れることができる。などという妄想にかられた内田少年は7枚のくじを買った。

“7、7、7…全部7か! すぐーな! オールセブンだ!”とねじり鉢巻きのおじさん。これは何かすごいことが起きたに違いない! と立眩みにも似た症状に見舞われた。すると目の前には指人形が7個。えっ、ラジコン当たらないの? と食ってかかったが“当たるわけねーだろー!”と罵声を浴びせられた。くじが当たらなかつた悔しさと、7個もの指人形を持っている姿を知人に見られたくないという恥じらいやら。以来、縁日ではくじを買っていないが、あのとき1枚が2枚に留めておけば今も買っていたと思う。つまり少年時代の夏の思い出は一生もの!!! よしも悪しきも少年少女たちの心に刻まれることを肝に銘じてSPVに励もうともう一度決意する。



## S.P.V 活動情報(～12月)

他に市内出張活動や駅前イベントにも出展予定

### 案内サービス “昔懐かし”紙芝居

◇平日11:30～、土日祝11:30～、14:30～  
(約15分)  
☆展望ロビー(北)、随時実演

### 鉄道ジオラマ ジオラマショー案内

◇11:00～、15:00～、17:00～(約20分)  
☆展望ロビー(東)

### 科 学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00～15:30  
☆21階展示ゾーン入館者対象

### 天 文 駅前観望会

◇10/3(土) 18:30～19:30  
◇11/21(土) 18:00～19:00  
☆郡山駅西口駅前広場(中央広場)



※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第23号 12月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

編集  
あとがき

- (国)鉄道ジオラマボランティアの会員が高齢者の集まりだけに大分少人数になり予定表の余白が目立つ。声を大にして集めよう。
- (隆)美食ツアーより、日食ツアーを選んだお歴々の「クライ」しかし「ツイー」お話しを聞きましょう。
- (星)日食ブルーからようやく立ち直り、夜空を素直に楽しめるようになりました。やっぱり星が好きです。
- (椎)上海組のみなさん、お疲れさまでしたー。次回〇〇組は、もっともっと増えそうな予感。